

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【公表番号】特表2008-533052(P2008-533052A)

【公表日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-033

【出願番号】特願2008-501059(P2008-501059)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/08	(2006.01)
A 6 1 K	31/215	(2006.01)
A 6 1 K	31/25	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/22	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/16	(2006.01)
A 6 1 K	47/22	(2006.01)
A 6 1 K	47/02	(2006.01)
A 6 1 K	9/107	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/08
A 6 1 K	31/215
A 6 1 K	31/25
A 6 1 K	45/00
A 6 1 P	31/22
A 6 1 P	31/12
A 6 1 K	47/10
A 6 1 K	47/16
A 6 1 K	47/22
A 6 1 K	47/02
A 6 1 K	9/107

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月9日(2009.3.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被験者の皮膚または粘膜中または上にヘルペスウイルスによって引き起こされたウイルス感染症を治療するための抗ウイルス性組成物であって、

プロピレングリコールの(C7～C14)飽和脂肪酸エステル、プロピレングリコールの(C8～C22)不飽和脂肪酸エステル、多価アルコールの(C7～C14)飽和脂肪エーテル、多価アルコールの(C8～C22)不飽和脂肪エーテル、これらのアルコキシリ化誘導体、またはこれらの組み合わせを含み、前記アルコキシリ化誘導体が、多価アルコール1モル当たり5モル未満のアルコキシドを有する、有効量の抗ウイルス性脂質成分；そして

**外部鎮痛薬**

を含み、前記抗ウイルス性脂質成分が20wt%を超える量で存在する前記抗ウイルス性組成物。

**【請求項2】**

被験者の哺乳類組織におけるウイルス感染症を治療および/または予防するための抗ウイルス性組成物であって、

プロピレングリコールの(C7~C14)飽和脂肪酸エステル、プロピレングリコールの(C8~C22)不飽和脂肪酸エステル、多価アルコールの(C7~C14)飽和脂肪エーテル、多価アルコールの(C8~C22)不飽和脂肪エーテル、これらのアルコキシリ化誘導体、またはこれらの組み合わせを含み、前記アルコキシリ化誘導体が、多価アルコール1モル当たり5モル未満のアルコキシドを有する、有効量の抗ウイルス性脂質成分；そして

**外部鎮痛薬**

を含み、前記抗ウイルス性脂質成分が20wt%を超える量で存在する前記抗ウイルス性組成物。

**【請求項3】**

プロピレングリコールの(C7~C14)飽和脂肪酸モノエステル、プロピレングリコールの(C8~C22)不飽和脂肪酸モノエステル、多価アルコールの(C7~C12)飽和脂肪族モノエーテル、多価アルコールの(C8~C22)不飽和脂肪族モノエーテル、(C2~C8)ヒドロキシカルボン酸の(C7~C14)飽和脂肪アルコールモノエステル、(C2~C8)ヒドロキシカルボン酸の(C8~C22)モノ-またはポリ-不飽和脂肪アルコールモノエステル、これらのアルコキシリ化誘導体、またはこれらの組み合わせを含み、組成物の総重量に基づいて20%を超える量で存在する抗ウイルス性脂質成分；そして

**外部鎮痛薬**

を含む局所的抗ウイルス性組成物。

**【請求項4】**

被験者の皮膚または粘液膜上または中のウイルス感染症を治療するための抗ウイルス性組成物であって、

(C2~C8)ヒドロキシカルボン酸の(C7~C14)飽和脂肪アルコールエステル、(C2~C8)ヒドロキシカルボン酸の(C8~C22)モノ-またはポリ-不飽和脂肪アルコールエステル、これらのアルコキシリ化誘導体、またはこれらの組み合わせを含み、前記アルコキシリ化誘導体が、多価アルコール1モル当たり5モル未満のアルコキシドを有する有効量の抗ウイルス性脂質成分

を含む前記抗ウイルス性組成物。